

落部に集え!!マニア

8Beat八雲 ^{おとし べ} とおき落部な物語



表紙写真
撮り鉄の間では有名な落部スポット



オデシュペツ

アイヌ語で川尻に魚筍をかける土地——落部の名の由来になる

北海道二世郡八雲町



八雲町の観光と物産の情報は八雲町情報交流物産館「丘の駅」へ
北海道二世郡八雲町浜松368-8北海道自動車道PA・道立公園噴火湾パノラマパーク内
<http://yakumo-okanoeki.com/>



[発行] 八雲産業連携促進協議会／事務局: 八雲町農林課
[お問合せ] (一社) 八雲観光物産協会／事務局: 八雲町商工観光労政課
〒049-3192 北海道二世郡八雲町住初町138番地
TEL 0137-62-2111 FAX 0137-62-2120
<http://www.town.yakumo.lg.jp/>

[Edit] Labbott Co., Ltd. [Design] R.Wakai
[Photograph] I.Sasaki, Yakumo Cho

この冊子は農林水産省都市農村共生・対流総合対策交付金の事業で制作しています





いっぱい
いいところぞー！

道南で唯一全国農業協同組合連合会指定のもち米生産団地があり、
複合栽培作物として高品質を誇る「軟白ねぎ」、
北海道一の生産量を誇る
「かすみ草」や「みょうが」栽培の中心地でもあります。
また漁業は、前浜で獲る沿岸漁業から、
ホタテ養殖漁業へと大きく転換し、
一時期漁家はホタテ御殿と呼ばれる住宅新築ブームに沸いたり、
地元水産加工場が盛んで、働く女性作業員で賑わう産業地域です。
しかも、農家と漁師の付き合いが深く、
落部地域の農家は八雲には珍しく「浜気質」。
農家は「海産物は買う物じゃなく漁師からもらうもの」、
漁師も「農作物は買う物じゃなく農家からもらうもの」と言いさる、
浜と山が一体となった地域です。
加えて落部地域の農業・漁業は後継者が多く、
基幹産業としてとても活気にあふれています。

八雲町落部地域は、八雲町の太平洋側南部に位置し、
昭和32年に茅渚郡落部村と
山越郡八雲町が合併してできた旧落部村の地域です。
北海道近代酪農の先進地であった
八雲町において落部地域の農業は、
酪農に加え稲作と畑作も盛んで、



八雲町の産業の顔をもつ もう一つの地域

OTOSHIBE

CONTENTS

- ① アイヌ民族で初めて東宮御所に参内したイカシバ 3
- ② 仙境 上の湯温泉郷 ～大正天皇との縁～ 5
- ③ 市場相場を決める食材と北海道郷土料理の聖地 7
- ④ 建築家と小説家の異色コラボで木製戦闘機? 9
- ⑤ 日本で唯一となる縄文時代のミニチュア発見! 11



1 アイヌ民族で初めて東宮御所に参内したイカシパ

尊敬と信頼を一身に集めた落部の偉人

辨開 風次郎氏はアイヌ名「イカシパ」(偉大で何でもできうるの意味)、落部村で生を受け、若くして落部村のリーダーとなりました。牛馬商でありながら獣医でもあり、和人と積極的

に交流を深めた人物として、隣の町にも知られています。黒松内町では、馬の診療に尽力し産業発展に多大な貢献をしたとして、昭和63年(没後70年)に「産業功労者」として表彰さ

れています。また、アイヌ民族として初めて東宮御所に参内し、東宮殿下(後の大正天皇)のご成婚を祝って小熊を2頭献上し、その感謝の証として「御所の松」を頂きました。その松は落部八幡宮の境内にあります。その他にも、明治35年の八甲田山雪中行軍遭難事件で、救助捜索隊として活躍した記録もあり、落部の偉人としてその名を今に残しています。

カバラム(木綿衣) 辨開風次郎氏が着ていたものをユーラップ・レラの会が複製



八雲町郷土資料館
辨開風次郎を含めアイヌ文化を展示保存
八雲町末広町154
☎0137-63-3131
<http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/museum/index.php>



辨開風次郎氏(左)
明治末期



絵本「辨開風次郎物語」
平成22年、シーニックバイウェイ北海道「シーニック絵本」として製作され、絵は落部中学校の生徒が担当しました
<http://www.town.yakumo.lg.jp/taco-jiro/>



御所の松
明治天皇から拝領した松の1本が、落部八幡宮の境内に植えられています

辨開風次郎氏
(1847~1924)
頭にサバンベをつけ、カバラムを着て、陣羽織を身に着けた盛装



マニアック!
落部 OTOSHIBE

落部八幡神社宮司
五十嵐 力さん

御所の松は、辨開さんが拝領し分かち合った32本のアカマツの1本です。未来につなげるよう、松ぼっくりから種を取り、その2世を育てているんですよ。



落部は江戸時代から漁場として開けた地区で、漁港を中心として街が形成されている



錦糸刺繍の羽織
辨開風次郎氏が宮中参内時に身につけた羽織といわれている(銀婚湯所蔵)



辨開風次郎生誕の地
国道5号にほど近い落部川沿いの生誕地

2

仙境上の湯温泉郷

大正天皇との縁

数百年の昔から
愛され続ける温泉郷

この地区は人里離れた静かな山奥で、古くから温泉が湧き出ており、湯治場として利用されてきました。江戸時代末期に蝦夷地を探索し北海道の名付け親である探検家松浦武四郎の「蝦夷日誌」にも紹介されています。これに紹介された温泉が今も落部上の湯地区に残っているかどうかは定かではありませんが、この

地区で温泉宿といえば、銀婚湯（銀婚湯温泉）とパシフィック温泉ホテル清龍園（上の湯温泉）の2つがあります。その中でも銀婚湯温泉の名の由来は、落部ならではの



でないでしょうか。なぜなら、落部川の中州を開掘し温泉を掘り当てた日が大正天皇の結婚式であったため「銀婚湯」と名付けられました。そして大正天皇と落部は辨開氏を通じて縁のある土地です。不思議な縁があると思いませんか？一方、水田に温泉が湧き出していたのを発見して開業した上の湯温泉は、今ではパシフィック温泉ホテル清龍園として営業



幻の車滝

し、町民の癒しの場にもなっています。そして公には出ていませんが、この他にも近年畑に湧き出した温泉もあるようで、今



滝見橋の滝

でも落部の山奥には人知れず湧き出ている温泉があるかもしれません。また、この地区の落部川沿いの桜（五平桜）は見ごたえがあると評判。加えて落部川支流には、春先に現れる知る人ぞ知る幻の滝があり、まさに仙境にふさわしい地区です。



足湯「かたらいの湯」（銀婚湯）



銀婚湯露天風呂

楓林を中心とした5000坪の庭園の中に複数の露天風呂や岩風呂の内湯などが。泉質はナトリウム塩化物・炭酸水素塩泉などで、山合いの趣きある風情が人気

www.ginkonyu.com/



パシフィック温泉ホテル清龍園
豊富な湯量と98℃を誇る高温の源泉で泉質はナトリウム塩化物・硫酸塩泉。広々とした庭園風露天風呂が人気で、パークゴルフ場なども併設する白亜の建物が印象的な温泉ホテル
<http://primenet2010.biz/seiryuen/>



江差方面に向かう道67号に沿って落部川が流れ、滝見橋から見られる滝など風光明媚

銀婚湯ご主人
川口 忠勝さん

上の湯は昔から温泉の自然湧出の多いところです。温泉成分量がとても多く、柔らかい泉質であつたります。当館も6つの露天風呂が楽しめますし、温泉宿以外にも露天温泉を見つけられるかも知れませんよ。

落部の桜
（落部公園）
つつじが有名な
落部公園は、桜
も見応え十分

3 市場相場を決める食材と北海道郷土料理の聖地

落部の軟白ねぎは北海道一

落部地域は、道南で唯一全
国農業協同組合連合会指定の
もち米生産団地があります。
酪農家を除いた多くの農家でも
ち米は主力として生産されてい

ます。この地域の特徴は、「も
ち米」に特化して生産している
ことです。それにより、農家
同士で情報・技術交換ができ、
品質の向上につながっています。
また町内では「風の子もち」
を使ったお菓子も製造販売して
います。そして、そのもち米の

副業としてスタートしたのが施
設園芸で、花やねぎ等を生産
していますが、中でもビニールハ
ウスにて特殊な方法で栽培され
る柔らかく甘みがある軟白ね
ぎは、市場に出れば通常のねぎ
の何倍もの値が付く高級品で
す。はじめは、ビニールハウス

での生産技術がなく「軟白ね
ぎ」ならぬ「軟弱ねぎ」だっ
たと生産者は苦労を語ります
が、日々農家同士の勉強で積
み上げてきた知識と経験で今
やその質も値段も北海道一！
市場の相場に影響をおよぼし
ているのです。



収穫体験
軟白ねぎ収穫体験モニターツ
アーを実施して商品化を目指
しています

やくもっちい

もち米消費拡大を
目指したもち米の
PRキャラクター



風の子もち米
特徴の粒張りの良さやきめの細
かさを生かし、イカめしや和菓子
大福餅、最中などにも商品化

チャンチャン焼きの聖地!?

農作物だけ取り上げました
が、落部は漁業の町でもあるの
です。落部地域でも鼻曲りとい
われる大型の鮭が水揚げされ、

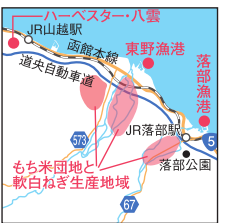
しかも軟白ねぎ等の野菜も地
元で生産しています。となれば
これらの食材を活かすには、北
海道の郷土料理「チャンチャン
焼き」！落部のチャンチャン
焼きは、北洋漁業に出稼ぎに
行っていた漁師が持ち帰った
「船上で、電気コンロと一斗缶
を利用した鉄板?を使った鮭
焼き」が起源なのです。元が
元だけに、落部のチャンチャン
焼きは豪快の一言！極めつけ
にチャンチャン焼き用の味噌も
地元産となれば、まさに由緒
正しきチャンチャン焼きの聖地
です。

軟白戦隊
ユーラッパー

新型風邪菌カザイルから人々
を守るために雪をものともせず
立ち上がったヒーロー



チャンチャン焼き
漁師のチャンチャン
焼き体験モニターツ
アーを実施、商品化
を目指しています



東野のもち米団地の段々畑は
見応えあり

マニアク! 落部 OTOSHIBE

ハーベスター・八雲

店長 上野 貴弘さん(右)
料理人 鈴木 憶仁さん(左)



新鮮な地元産を中心にしたメニュー
をご提供していますが、落部地域の
食材は水産・農産物のどれをとっても
美味しく、お薦めは多様な品種の野菜
がコラボする絶品生サラダです！
何の野菜か分かるでしょうか。



4 建築家と小説家の異色コラボで木製戦闘機？

田上義也と
伊藤整の出会い

第二次世界大戦末期、戦闘機の製作に必要なジュラルミン不足から、それに代わって木材でということ、落部にベニヤ単板製造工場（帝産航空株式会社落部工場）が建設され、木製飛行機の部品も作っていました。その工場長が、帝国ホテルを設計した近代建築の3大巨匠であるフランク・ロイド・ライトに師事し、北海道の気候風土に根ざした洋風建築を各地に残した田上義也氏だったのです。そして落部付近に疎開してきたのが、当時既に小説家で後に20世紀日本文学の重要な小説家、文芸評論家といわれる伊藤整氏とその一家。伊

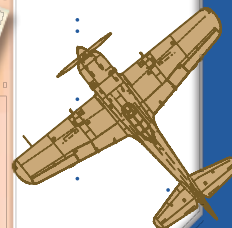


田上 義也と伊藤整
(1899～1991年/左) (1905～1969年/右)

音楽、文学にも造詣があった田上氏は、伊藤整氏と落部で交流を深めました。伊藤整氏の著作「太平洋戦争日記」にはこのような日記があります。『昭和二十年八月二日記 於落部帝産航空工業今朝七時出勤し、田上義也工場長より紹介される。ラジオ体操、講話等に列席す。一昨日三十一日、野田生より馬車一台に荷物を積み、落部の沢田平治宅に借りた六畳八畳二間の座敷に引越しを為す。』

額写真(上)は、
小山一男著「エジライト・
田上義也北のまれびと」
(現代出版1977)より

「太平洋戦争日記」
(新潮社1983)



ようです。

当時の話を知る人曰く、この工場では戦闘機の羽の部分を



田上 義也氏

作っていたそうです。また伊藤氏は、やはり畑違いだったのでしょう、あまり戦闘機作りに貢献できてはいなかったようです。実際どれだけ木製戦闘機が製造されたのかは不明ですが、少なくとも1機は完成していたようで、話によると八雲の

飛行場にあったとか。やがて終戦を迎え、文筆活動のため東京に戻ることになった伊藤氏に、田上氏は家の設計図をもたせ、後日、木材などの資材を送ったそうです。余談ですが八雲町公民館の設計は、田上氏によるものです。



八雲町公民館
田上氏は、昭和40年落成の
公民館の設計を手がけました



八雲町立図書館
郷土資料コーナー
伊藤整氏の著作など、八雲町
に縁のある郷土資料が豊富

今はタラコ、昔はベニヤ？

【帝産航空株式会社落部工場】



帝産航空株式会社落部工場(昭和19年頃)

田上氏は昭和18年、帝国産金興業株式会社社長から、落部の帝産航空という航空用単板製造工場の設計と工場長を依頼されます。当時ジュラルミンの欠乏により、木製飛行機を作らざるを得ない状況で、材料となるベニヤ単板の製造に迫られていました。入沢に新工場を建設、軍指定工場として従業員400人を擁したそうです。この地に現在では、HACCPに基づく近代的な長谷川水産入沢工場(ベニヤ工場跡地)があり、旧工場事務所は落部七区会館になっています。なお、ベニ



長谷川水産入沢工場

ヤならぬタラコなど水産加工品は、国道沿いのミノリ商事などで購入できます。



落部支所、落部公園、農産物直売所などがあり、JR落部駅を起点に利便性が高い

マニアック!
落部 OTOSHIBE

長谷川水産社長
長谷川 博之さん

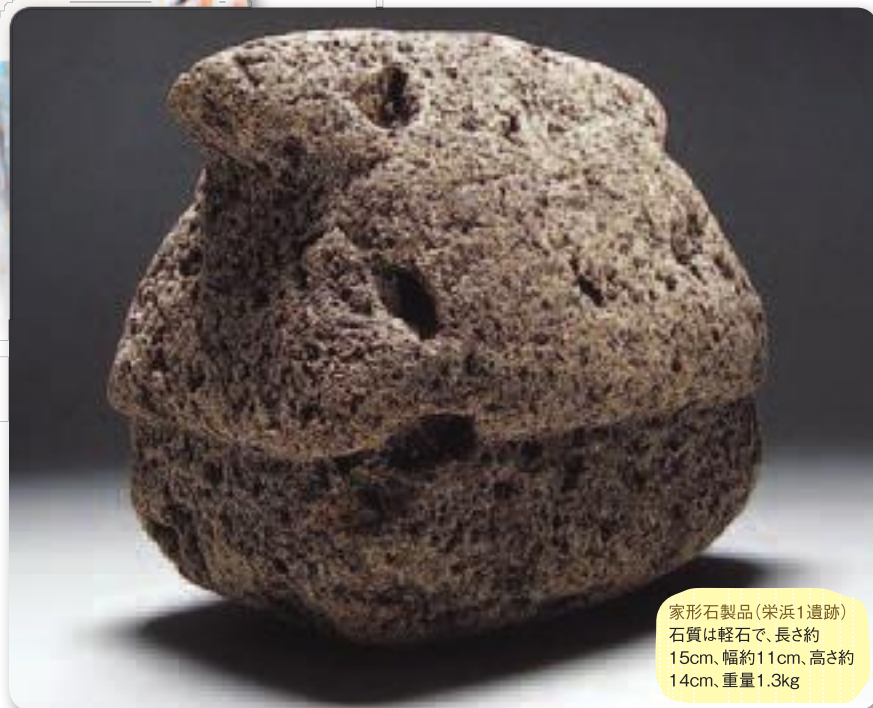
田上義也さんや伊藤整さんと縁のある場所で、落部自慢の水産加工品を製造しています。とても嬉しい限りです。お二人の足跡を感じながら、是非落部を訪れてみてください。



5 日本で唯一となる縄文時代のミニチュア発見！

縄文時代のフィギュアか!?
はたまた...?

落部地域には遺跡が12カ所存在し、特に縄文時代の遺跡が多く見つかっています。それらの遺跡から何万点もの遺物（土器や石器など、遺跡から見つかるモノ）が発見されていますが、なかでも貴重な遺物が栄浜1遺跡から出土した家形石製品！今から約4千600年前の縄文時代中期に作られた、家を石で表現した遺物です。全国的にもこれ以外に縄文時代の家を表現した遺物はなく、縄文時代にすでに入母



家形石製品（栄浜1遺跡）
石質は軽石で、長さ約15cm、幅約11cm、高さ約14cm、重量1.3kg

土偶
抽象化した女性像。頭は欠けているが、腕、胸、足が簡単に示されている



屋造りの平屋建て住居（日本昔話に出てくるような建物）があったことが初めてわかった貴重な資料です。現在、家形石製品が発見されたところは駐車場となっており、家形石製品を模して巨大化したミニメントが民間団体によって建てられています。なお本物は八雲町郷土資料館に展示しています。が、サイズの違いに驚くことでしょう。

また、あまり知られていませんが、北海道には弥生文化がありません。弥生文化を特徴づける水田稲作が北海道には伝わらず、縄文文化の生活様式を受け継いだ続縄文文化となりました。その後本州とは違った歴史を歩みますが、落部地域からはどの時期の遺跡も見つかっていない、大昔からこの地域は豊かで人が住んでいたことがわかります。

家形石製品の巨大モニュメント発掘場所の一部は現在駐車場と小公園になっており、巨大モニュメントに接することができます



八雲町郷土資料館
栄浜1遺跡をはじめとして、現代に至る八雲町の郷土資料が豊富に展示保存されている



このように出土！

栄浜1遺跡発掘
平成9年に実施した八雲町歓迎案内施設整備工事に伴う事前の発掘調査では、さまざまな縄文時代の遺物が出土



国道5号より下る海岸線には旧道があり、栄浜の漁村風景が楽しめる



八雲町郷土資料館
学芸員
大谷 茂之さん

マニアック！
落部 OTOSHIBE

面積約10万㎡の広さを持つ栄浜1遺跡です。住居跡200以上、遺物50万点以上が出土していて、規模の大きな集落がありました。小公園からの眺望や散策で縄文時代を是非想像してみてください。

縄文の世界ガイドブック[発行：洋泉社2013]
「洋泉社MOOK 入門 縄文の世界(監修小林達雄)」



縄文人、イエを持ちムラに住む

落部に まつわる物語



まだある♪

絶品！幻の天カマ

昔から漁業で栄えている落部は、道南のスケトウダラ漁場の開拓など道南地域の漁業発展に大きく貢献。蒲鉾などの練り物の原料魚が多く揚がった落部で注目を浴びたのが、鈴木カマボコ店でした。肉厚で大きく、絶妙な揚げ具合で食感も抜群「美味しい鈴木のカマ」と評判で、揚げたての天カマを求めて町内外から多くの人が集まったそうです。その天カマ職人小林栄さん（落部出身）が高齢により蒲鉾作りを引退、入手できない幻の一品となりました。現在、落部つじ祭りでは天カマではありませんが、練り物として「すり身汁」が無料で振る舞われています。

落部都市伝説

嘘か真か、落部地域の一次産業に関わる人は、イケメンと美女が多いとか。なぜ多いのか!? その謎に迫ると...。まず落部地域は、町外から嫁いで来ている人が多い。それは、漁師さんたちが函館などの都市に遊びに出かけ「美人のお嫁さんをも

らってきたから」説、八雲町内にある病院の美人看護師さん達（町外出身が多い）と結ばれる説などがあります。そうして美人から生まれた子は、やはり顔立ちが良くと好循環。町外から来た人を温かく受け入れてくれ、なにより落部の人は話が面白い！だから魅力的。美男美女をお婿さん、お嫁さんにもらって、あなたも一次産業を始めてみてはどうでしょう？

東野だんだん畑
でのもち米収穫

収穫したの
もち米でもちつき

落部公園
つつじまつり
6月

9月 東野恵比須
神社例大祭

11月
おとしベ
蒙海フェスタ

八雲観光物産協会
ホームページから
ダウンロードが
できるよ!!

8Beat 八雲

玉手箱のような八雲の
とっておき小冊子「8Beat八雲」に、
八雲ならではの土産話がぎっしり。
ぜひ読んでみてね!

- 1 木彫り熊発祥
- 2 バター飴の発祥
- 3 ペコちゃん伝説
- 4 ザ・タイガース「花の首飾り」
原作詞の地
- 5 遊楽部鉾山の歴史と伝説

八雲観光物産協会ホームページ
<http://www.yakumo-okanoeki.com/>